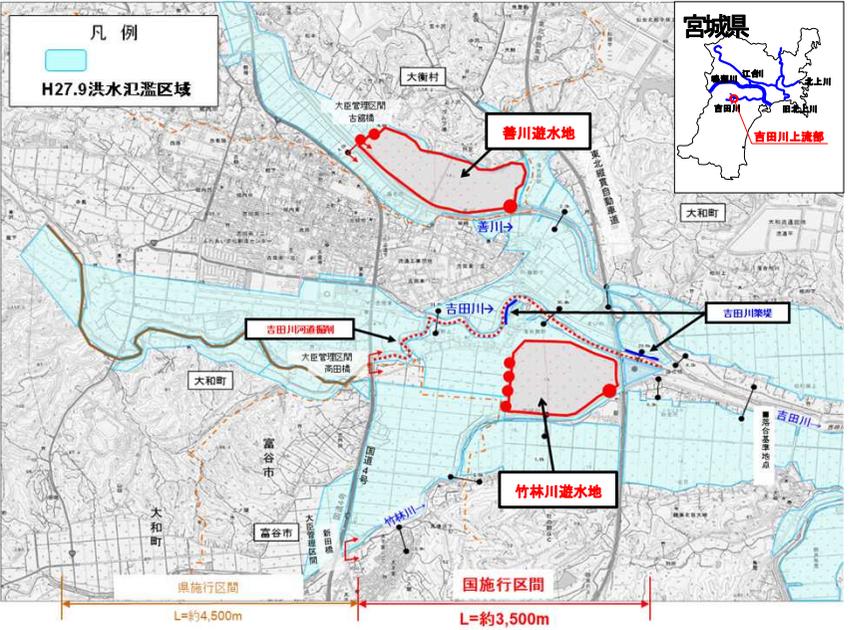


# 吉田川 床上浸水対策特別緊急事業 事業完成

- H27関東・東北豪雨で甚大な浸水被害を受けた吉田川上流部において、遊水地、河道掘削、築堤等を整備してきたものであり、宮城県区間を含めて一連で床上浸水対策特別緊急事業が完成したことから、**令和6年1月13日(土)に完成式を開催**。
- 完成式については、宮城県、大和町、大衡村、国土交通省の共催で執り行われ、連携した床上浸水対策特別緊急事業を実施したことにより、早期に吉田川上流部の家屋浸水被害の解消が図られるなど、**地域住民等の安全・安心を確保**。



▲「期待の言葉」発表の様子  
大衡村 大衡町 大衡村 織田 久栄 氏



▲「期待の言葉」発表の様子  
大和中学校 1学年 吉川 咲優 氏



▲奥田水管理・国土保全局治水課長挨拶



▲竹林川遊水地現地中継（ゲート操作）



▲北上川下流河川事務所長による事業説明

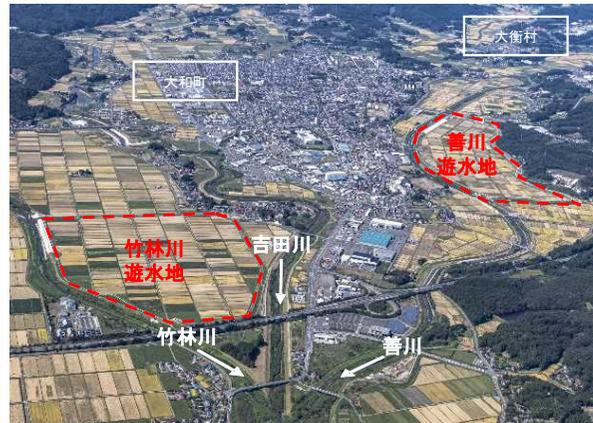


▲オープニングセレモニー（こども園マーチングバンド）

## ■H27 関東・東北豪雨 (2015年9月11日撮影)



## ■吉田川床上浸水対策特別緊急事業の完成 (竹林川遊水地：令和4年7月運用開始) (善川遊水地：令和5年4月運用開始)



▲くす玉開披

# 挨拶 「吉田川 床上浸水対策特別緊急事業 完成式」



おくだ あきひさ

## ■奥田 晃久 水管理・国土保全局治水課長 挨拶

○ 災害から国民の命や暮らしを守るのは国交省の最も重要な責務の一つ。防災減災施設の整備と合わせ、災害発生時における迅速かつ確かな初動対応や被災地の復旧支援など、災害対応の充実、強化に今後とも最大限努力して参ります。



むらい よしひろ

## ■村井 嘉浩 宮城県知事 挨拶

○ 近年、水災害が激甚化、頻発化しており、流域治水の推進が一層重要になっている。吉田川を東北初の特定都市河川に指定し、国、県、関係市町村で、ハード整備、ソフト対策一体となって進め、宮城県としては引き続き、関係機関と連携し、浸水被害を軽減に向けて全力で取り組んで参ります。



いとう しんじろう

## ■伊藤 信太郎 衆議院議員 挨拶

○ 今日、この事業が完成を迎えたが、防災に完璧や終わりというのではない。皆様と協力し、さらに防災の実行性が高まるように努力していきたい。また、この地域がより安全・安心で経済発展していくよう祈念いたします。



あきば けんや

## ■秋葉 賢也 衆議院議員 挨拶

○ 年々、国家公務員、地方公務員の数が増減してきており、災害時の支援体制において十分な人手を送り込めない課題を抱えている。激甚化、頻発化する災害に対応すべく、国会議員として職員減少に歯止めをかけていくことを決意申し上げたい。



おかもと あきこ

## ■岡本 あき子 衆議院議員 挨拶

○ 流域治水関連の事業において、安全が担保されるにはソフト対策を講じなければならない。この地域の農業やものづくりの発展、さらなる安全性の確保に期待し、私も尽力して参ります。



しょうじ けんいち

## ■庄子 賢一 衆議院議員 挨拶

○ 地域住民の皆様方の高い防災意識と強い絆のおかげで当事業の迅速な完成に至った。これからも地元の皆様の運動を一つのお手本として水害対策を展開していただきたい。



いしがき のりこ

## ■石垣 のりこ 参議院議員 挨拶

○ この事業の完成で、今後の大きな災害への対策のベースが1つできあがった。ハード面の整備に加え、ソフト面のいざというときに命を守る行動の2つを大きな柱とし、地域で命・暮らしを守るといふことにしっかりと取り組んで参りたい。



さとう のぶあき

## ■佐藤 信秋 参議院議員 挨拶

○ 自民党の国土強靱化本部の本部長代理として、本事業のような現形復旧ではなく、費用と時間はかかるが、改良復旧を行うことで再び災害が起こることのないように地域の皆様の安心・安全を協力しながら確保していく。



わだ まさむね

## ■和田 政宗 参議院議員 挨拶

○ この事業は、流域治水の根幹をなし、全国に先駆けて完成したものである。この事業を中核として、鳴瀬川水系の方々が決して洪水によって命や財産を失うことがないように力を尽くして参りたい。



あさの としひこ

## ■浅野 俊彦 大和町長 挨拶

○ 流域の関係機関と協同し、総合的な災害対策を講じる流域治水を推進し、頻発化、激甚化が懸念される洪水被害が軽減されることを期待している。町として関係機関と連携を図りながら総力を挙げて治水対策に努力して参りたい。



おがわ

## ■小川 ひろみ 大衡村長 挨拶

○ 被災に苦しんできた地元の皆様においては大きな安心を得られた。我々地元自治体としても吉田川、鳴瀬川流域の安心、安全に大きく寄与するものと確信している。一つの節目として安全・安心のまちづくりにより一層努めて参りたい。